

# 小山北桜高等学校の取組

【特色】「歴史とロマンのかんぴょう街道推進協議会」の協賛会員となったことを機に、総合ビジネス科にかんぴょうの情報誌作成とPR活動への参加依頼の話があり、協力することになった。総合ビジネス科の生徒で構成されたビジネス研究部を立ち上げ、商業に関する課題を設定し、調査及び研究活動を行うことを目的に活動している。

## 取組事例

### ○組織的な取組

- ・学科連携行事として、毎年秋に櫻プロジェクト（5学科連携による販売実習）を実施している。
- ・近隣の小学校や特別支援学校との交流活動を行っている。
- ・インターンシップやインターンシップ地域連絡協議会を実施している。

### ○総合ビジネス科

- ・「歴史とロマンのかんぴょう街道推進協議会」と連携し、かんぴょう街道のPR活動やPRパンフレットの制作、かんぴょうを使用したアイスの商品開発等を行う中で、様々な業種の方と関わっている。
- ・休日や放課後は部活動として、イベント等の地域活動に参加している。
- ・流通ビジネスコースの授業の一環として、会議やイベント等に参加することもある。
- ・ビジネス研究部の1年間の活動をまとめ、毎年7月に栃木県生徒商業研究発表大会で成果発表している。

### ○園芸科学科（食料環境科）

- ・渡良瀬遊水地のクリーン活動や外来植物の駆除作業等に参加している。

### ○造園土木科（食料環境科）

- ・環境ボランティア（足尾銅山植樹活動、渡良瀬遊水地での環境保全活動）等を行っている。

### ○生活文化科

- ・「小山和牛入りかんぴょうカレーパン」や「小山評定開運焼き」の販売等を行っている。

## 地域活動による効果・成果

生徒の変容

- 地域の様々な年代の方々と触れ合いながら活動することで、コミュニケーション能力が高まるとともに、地域に貢献する喜びを感じることができた。
- 自分からアイデアを出し、行動を起こすことで、積極性や問題解決能力を身に付けることができた。

学校への効果

- 地元の企業と協力し、地域活性化のために連携する関係性が構築できた。

## 地域活動がうまくいっている要因

- ・キャリア教育で、地域で必要とされる人材はどのような人材なのかを考えさせたり、自分の将来を具体的にイメージさせたりすることで、「活動への関心」が「活動すること」につながるようにしている。また、地域貢献活動が自分と自分が住んでいる地域を豊かにすることや、様々な年代と関わることで自分が成長できることをイメージさせている。

## 活動しやすい環境整備のポイント

- ・教育課程に地域活動を授業として組み入れるようにすることで、生徒も最初は義務的であっても、参加して自分が変わっていくことに気付いたり、新しいことをしてみようと考えたりする機会が増えてくる。
- ・学校として目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有することで、教育活動の充実につながる。
- ・放課後や土曜日等で、地域の人的・物的資源を活用し活動している。